

## 第2回E C O勉強会

### 「知っておこう！市民共同発電と越谷の太陽光発電事業」

日 時：平成26年5月10日（土）午後1時から午後2時30分まで

場 所：サンリット越谷ビル3階会議室

参加者：11名

埼玉県内で「市民共同発電」※設置の実績を持ち、平成26年3月には越谷市内の大袋幼稚園に、越谷市で初となる市民共同発電所設置に携わったNPO法人の方にご講演いただくとともに、越谷市の太陽光発電の現状などについて、市役所の担当職員から説明をいただきました。

※「市民共同発電」とは、市民から募った寄付や出資金をもとに、NPOや民間企業が太陽光発電設備を設置するもので、再生可能エネルギーの推進とともに、多くの市民が関わることによるエネルギー・環境問題への啓発効果も期待されている。

#### (1) 市民共同発電について

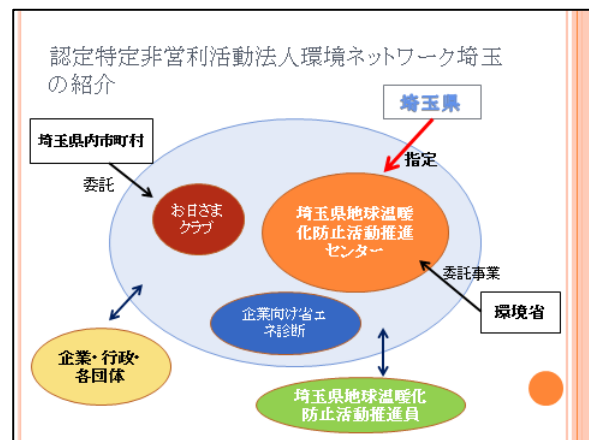
(講師：認定特定非営利活動法人 環境ネットワーク埼玉 事務局長 秋元智子氏)

講演資料 (抜粋)

**市民共同発電とは**

- 1994年に宮崎で初の太陽光発電がスタート
- 当初の動機は脱原発⇒3・11後、再生可能エネルギー(地産地消)の重要性が増した
- その後各地に広がり、風力発電、小水力発電にも拡大
- 市民グループと設置施設のオーナーが連携して設置
- 多くの市民が関わる事ができる  
⇒普及啓発効果が大きい
- 環境学習(教育)の格好の場となる  
⇒地域エココミュニティの創出

※最近では全量買取制度が始まり、大規模のものの設置が増えており、市民ファンドの導入も始まっている。



**埼玉お日さまクラブの経緯**

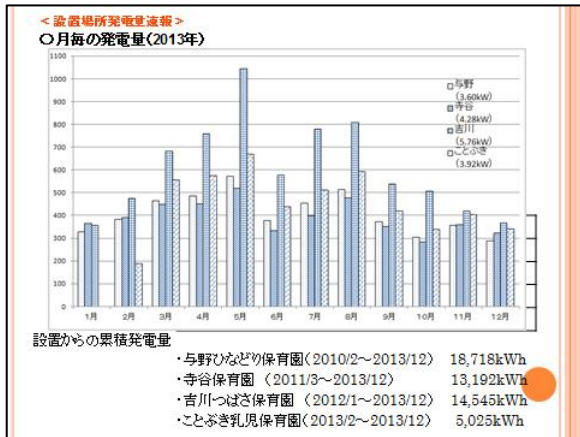
- 2008年8月結成(3年経過)
- 2009年度 与野ひなどり保育園に1号機を設置
- 2010年度 寺谷保育園に2号機を設置
- 2010年度には、初めてのフォーラムを開催、設置の手引きを発行
- 2011年度 つばさ保育園に3号機設置フォーラム開催
- 2012年度 ことぶき乳児院保育園に4号機設置見学会の開催、フォーラム開催
- 2013年度 大袋幼稚園に5号機を設置フォーラム開催

お日さまクラブ 第1号機  
与野ひなどり保育園(さいたま市)に設置

**ひなどり みんなの発電所**

屋上のパネル (サンヨー3.6kW)

与野ひなどり保育園  
さいたま市中央区  
園児数約100名



第5号機 大袋幼稚園(越谷市)

点灯式

パネルの裏にお絵かき

4.4kW 200kWの太陽電池を22枚  
東芝製  
寄付者 約200名  
寄付額 約120万円

園児数 約500名

## (2) 越谷市の太陽光発電事業について

(講師：越谷市役所環境政策課 副主幹兼地球温暖化対策係長 五十嵐治氏)

講演資料 (抜粋)

**具体的な取組**

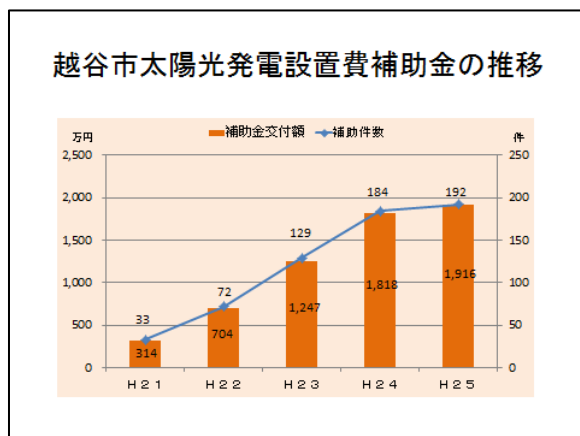
1. 越谷卸売市場の屋根(6000㎡)を活用した大規模ソーラー発電 **420キロワット**
2. 住宅用太陽光発電設備補助金制度に基づく市民力による発電(1000件×4.1キロワット) **4100キロワット**
3. 小中学校・公共施設の屋根貸し等による地域一体型発電 **580キロワット**

**合計5メガワットの発電を目標(平成27年度末まで)**

**420kW級 太陽光発電システムの概要**

約200軒分の電力を発電しています。

1. 太陽電池発電容量: 約420kW
2. 太陽電池モジュール: 東芝製単結晶モジュール、250W×1,699枚
3. 設置方法: 折半屋根設置
4. パワーコンディショナー(PCS): 東芝三善産業機器システム製、500kW
5. 通電式: 2014年3月28日
6. 再生可能エネルギーの固定価格買取制度を活用(20年間の全量買取)



**越谷市市有施設 屋根貸し太陽光発電事業**

内定事業者: イハシライフ株式会社

【提案内容】

使用施設: 7校9棟(千間台中 校舎Cを除く)

使用面積: 1773.303㎡

太陽光発電設備容量: 235.62キロワット

使用料: 年額 99万円  
(年間予定売電額の11.4%)

事業期間: 20年